



せんだんの木



令和6年7月1日 校長 各務至

「いじめを見逃さない日」の取組

本来は7月3日に実施すべき内容ですが、5年生の野外学習が7月3・4日にある関係上、7月1日に次のとおりに実施したことを紹介します。ご家庭でも話題にしていただけましたら幸いです。

まずは、全校オンラインで私から3つの話をいたしました。※抜粋

① 挨拶

最近、気持ちのいい挨拶をする子にたくさん出会います。大きな声で元気よく挨拶する子、立ち止まっていいねに挨拶をする子、相手より先に挨拶をしようとする子。おかげで、こころが軽やかになります。でも、心の中でつぶやいている挨拶も OK です。小さく会釈する挨拶も OK です。「次こそは声を出そう。」と思っていることも OK です。要は、相手を思っている気持ちがあれば、それは伝わります。それが大切です。

② なかま

「なかま」という言葉は、全校のみんなのことを言います。グループが違って「なかま」です。クラスや学年が違って「なかま」です。あまり話したことがない子も「なかま」です。みんなが「なかま」です。私たちは、同じ場所で、同じ時間を過ごしている「なかま」なのです。

③ こころといじめ

こころにいじめのとげが刺さっています。「悪口」のとげ。「からかい」のとげ。「無視、仲間外れ」のとげ。「暴力」のとげ。どんな感じがしますか。ちくちく痛いんですね。いじめられた人のこころはとげが刺さって痛いです。困って、悩んで、苦しんで、学校に来られなくなったりすることもあるのです。刺さり方がひどいと、自ら命を絶ってしまうこともあります。岐阜市でも5年前の同じ7月に起きてしまったのです。その子はどれだけ苦しかったことでしょうか。今日は、そのことを胸に置きながら、話を聞き考えてほしいのです。このとげが刺さらないようにしたい。刺さっても抜けるようにしたい。だから、次の3つを大切にしてほしいです。

- ・なかまの痛みを感じることができる
- ・なかまを見ぬふりをしない
- ・なかまに「ごめんなさい。」「ありがとう。」が言える



この後、牧野生徒指導主事から「くれよんのくろくん」という絵本を読んでもらって、各学級で、「仲間外れ」「個性の伸長」「先入観」などといった、学年に応じたテーマをもとに話し合っていました。「仲間外れにされたくろくんは、本当は怒りたくなるくらい悲しかったんじゃないかな。」などと、くろくんの気持ちを想像しながら、お互いの良さを尊重し、協力していくことの大切さを考える学級もありました。

このように、自分だけでなく「なかま」も大切にしながら、よりよい学校生活を送っていくことを願っています。